

感染状況・医療提供体制の分析(11月17日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計		前回の数値 (11月10日時点)	現在の数値 (11月17日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	76人 (4人)	68人 (3.6人)	→	総括 コメント	レベル3. 感染が拡大しつつあり警戒が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	20人 (26%)	19人 (28%)	→	新規陽性者は<u>人口10万人当たり3.6人</u>と微減。県内でクラスターが散発、またそこからの二次感染により、人口当たり感染者数は全国でもトップ。ただし、接触歴不明者の割合は比較的少ない。 年末にむけてイベント増加とともに感染者が増えてくることが予想され、都市部の感染状況も注視していく必要がある。ワクチン接種完了後の感染対策継続など、現在の取り組みを維持する必要がある。	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	47人	41人	→		
		県南西部	23人	27人	→		
		高梁・新見	5人	0人	→		
		真庭	0人	0人	→		
		津山・英田	1人	0人	→		
医療提供体制	市中潜在 ③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	19人	12人	→	総括 コメント	レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる
		割合 (③/①)	25%	18%	→		
	④入院患者数 (確保病床における入院割合)		20人 (4%)	38人 (7%)	→	総括 コメント	入院患者数・重症者数増加も、宿泊・自宅療養者数は減少。通常の医療は提供できている。
	⑤宿泊療養者数		27人	16人	→		
	⑥自宅療養者数		40人	29人	→		
	⑦重症者数		1人	3人	→		